令和5年度　第2回
「宇都宮MICEネットワーク」定例会
会議資料

令和5年12月21日(木)15:30～
@ライトキューブ宇都宮　大会議室201

令和5年12月21日
(一社)宇都宮観光コンベンション協会・宇都宮市役所経済部都市魅力創造課

◆ 第2回定例会 次第

日時
　令和5年12月21日(木)15時30分～17時00分

会場
　ライトキューブ宇都宮　大会議室201

議題
1　市・協会のMICE推進に係る取組について
2　誘致に係る今後の連携内容等について
3　受入に向けた今後の取組の方向性について

＊ 定例会終了後，17時30分から「情報交換会」を開催
　会場：ホテルマイステイズ宇都宮9階 「ルシール」

1　市・協会のMICE推進に係る取組について

1　令和5年度MICE誘致セールス実績

➡ 宇都宮観光コンベンション協会等において，11月末までに「149件」の誘致セールスを実施

宇都宮市での開催を検討している催事（本年度セールス先）

■ **航空関係学会**　（500名規模）　2024年
⇒実際に本市への来訪し、首都圏からのアクセス性の良さや利便性の高さ等に魅力を感じた。

■ **印刷関係組合全国大会**（500名規模）　2025年以降
⇒ライトキューブ宇都宮の規模感や施設利用料が希望に合致している。

■ **鋳造関係学会**　（700名規模）　2026年
⇒会員に「自動車関連企業」多く、産業力の高い宇都宮市との親和性が高い。

■ **産婦人科関係学会**　（1,200名規模）　2024年以降
⇒今後、「獨協医科大学」や「自治医科大学」の教授が大会長となる予定であり，その際には宇都宮開催となる可能性が高い。

宇都宮市での開催を検討している他の団体

■ 運輸業労働組合　■ 害虫対策関係協会　■ 包装関係協会　■ 植物関係学会

■ 動物関連学会　■ 鉄道業労働組合　■ 心理学関係学会　■ 石炭関係学会

1　市・協会のMICE推進に係る取組について

1　令和5年度MICE誘致セールス実績

➡　誘致セールスにおいて訪問先から挙がった主な意見は以下のとおり

好意的な意見

・7月にライトキューブ宇都宮で大会を開催したところ，使い勝手が良い施設であった。
・集客力を高めるために，会場が駅から近いのは良い。
・宿泊施設が駅周辺に多く，会場からのシャトルバス運行が不要となるなど，アクセス利便性が高い。
・アクセス利便性が高いため，県内医療系大学の教授の多くが宇都宮での学会開催を予定している。
・宇都宮はバンケットを持つホテルが複数あるため，会場を探しやすい。
・大型駐車場を有する会場があるので，出展者や自動車での参加者にとって便利である。
・開催支援補助金が魅力的である。

その他の意見

・開催をサポートできる人手があれば，より催事を開催しやすい。
・開催地域の大型観光イベントと日程がバッティングした際に，宿泊代の高騰が抑えられると助かる。
・北海道や沖縄など，観光資源が豊富な著名な観光都市が開催地に選ばれやすい。
・一部の学会では，空港からのアクセス性を重要視することもある。

1　市・協会のMICE推進に係る取組について

2　今後のMICE誘致セールス

➡　宇都宮観光コンベンション協会等においては，引き続き、訪問セールスに加え，以下のとおり，商談会への出展等のセールス活動を実施予定

■（年1回）国際MICEエキスポ（IME）への出展（周知）

MICEを推進する自治体やコンベンションビューロー，MICE施設等が国内外のMICE企画運営者や旅行会社等に対し，自らの地域や施設に催事を招致するための商談等を行う国内最大規模のMICE商談会

■（年2回）MICE主催者等を対象としたファムツアーの実施

開催地決定に影響力のあるキーパーソンやPCO等を招聘し，MICE施設やアフターコンベンションなど，本市の魅力を実際に体験していただき，MICE開催地としての認知度を高めるための体験ツアー

■（年3回）地方都市合同ワークショップ（会場：東京都等）への出展

他のMICE推進都市との合同による首都圏での商談会に出展し，地方としてMICE開催を検討する主催者等に対して，本市のPRを行うとともに，本市での開催に係る相談・支援を行うもの

1　市・協会のMICE推進に係る取組について

３　令和5年度MICE開催実績

➡　MICE開催に合わせ，宇都宮観光コンベンション協会において，様々な関係団体と連携しながら，主催者のニーズに応じた支援を実施

【お土産品コーナー設置】

「県外参加者等に地元特産品を味わってほしい」

会場の一角に宇都宮餃子や大谷石工芸品，地酒等の土産品コーナーを設置

【懇親会の盛り上げ提案】

「懇親会を盛り上げるパフォーマンスをしてほしい」

宇都宮ブレックスチアの「ブレクシー」を手配し，会場は大盛り上がり

【県内伝統芸能の紹介】

「懇親会で栃木の文化芸能を楽しんでもらいたい」

「喜連川公方太鼓」を手配し，大迫力の演奏には参加者から大きな拍手が

【国際会議のおもてなし】

「外国人参加者に地酒を楽しんでもらいたい」

「地酒体験ブース」を設置。協会で英語表記のメニューを制作し，おもてなしを実施

1　市・協会のMICE推進に係る取組について

4　MICE参加者等の意見・要望

➡ MICE参加者へのアンケート調査では，以下のような意見・要望が寄せられている。

肯定的な意見　☞ **まち全体による「来訪者への歓迎感」に好印象をもつ意見が多い。**

・滞在したホテルで栃木の郷土料理を味わうことができて良かった。
・公共交通と会場，宿泊先が集積しており，利便性の高い都市であると感じた。
・JR宇都宮駅の観光案内所で観光情報を得やすかった。
・JR宇都宮駅の土産販売コーナーで参加した大会名の歓迎ビラを見かけ，嬉しかった。

その他の意見　☞ **MICE後の「飲食店や移動手段」に関連する意見が多い。**

・20時以降に営業している餃子店がもっとあれば，餃子を味わう人はさらに多くなる。
・大人数が入れるカクテル店舗があれば，二次会で利用する団体はいる。
　➡現在，MICE参加者に飲食店情報が提供できるコンテンツの制作を検討中
・飲食店の呼び込みが多く，風紀が悪い。
　➡歓楽街対策に係る警察との連携強化や市・自治会等による合同パトロールの実施
・目的地に向かうにも，駅や市内の案内表記がわかりづらい。
　➡JR宇都宮駅に乗継案内等を表示したデジタルサイネージを設置

2　誘致に係る今後の連携内容等について

◆ 誘致強化に向けた取組の検討にあたって

第1回定例会を踏まえ，構成員間における誘致面での連携強化や潜在的な催事の開催需要を把握するため，各種学会情報等を有する大学を中心とした構成員との連携強化に係る個別の意見交換を実施し，今後の連携内容（案）として取りまとめ➡一部先行して実施【参考】「MICEネットワークによる取組紹介」

● 今後の連携内容（案）

・教授等の所属学会や企業等が加盟する団体等の情報提供（可能な構成員のみ）
・大学・団体内での催事開催に係るアンケート調査の実施協力
・コンベンション協会における誘致セールスにあたり，主催者となる関係教授等の取次協力
・MICE支援メニューの学内・団体内周知協力

➢ このほか，委員への個別の意見交換等により，催事の開催需要の把握に努め，事務局において誘致セールスを実施するなど，MICEネットワークにおける誘致連携の強化を図る。

※ 必要に応じて，構成員等に対し，誘致セールスへの同行を依頼

3　受入に係る今後の取組の方向性について

◆受入強化に受けた取組の検討にあたって

MICEに関する理解や知見を深めるとともに，宿泊・飲食・観光・交通等のMICE受入に係る様々な分野における主催者や参加者のニーズに合ったサービス等の提供を促進し，MICE開催効果をより一層高めるため，受入環境の向上に係る今後の取組の方向性として取りまとめ

◆ 今後の取組の方向性

①MICEセミナーの開催	MICE推進に対する市内事業者等の理解を深め，地域で主催者や参加者を歓迎する機運を高める。
②ネットワーク構成員の連携による主催者支援	今後，本市で開催予定の催事において，MICEに適応したおもてなしサービスの提供を通じ，ビジネスモデルの構築や構成員間での相互調整によるサービスの企画・提供等に繋げる。

【参考】コンベンションビューロー支援事業

- 観光庁における全国のMICE推進都市への支援事業であり，有識者による伴走型のトレーニング及びコンサルティングを通じた誘致・受入強化を図る。
- ➡ **令和6年度の支援を受けられるよう，観光庁と調整中**

3　受入に係る今後の取組の方向性について

①MICEセミナーの開催
　MICEがもたらす効果や地方がMICEの推進に取り組む意義，市内事業者等のビジネス機会の獲得に向けた意識醸成など，MICEに対する市民理解の促進や市内事業者等の参画意欲の醸成に繋げるもの

◆令和5年度の開催概要（予定）

- 日時
  令和6年3月26日（火）　14～16時
- 会場
  ライトキューブ宇都宮　大会議室201
- 内容（案）

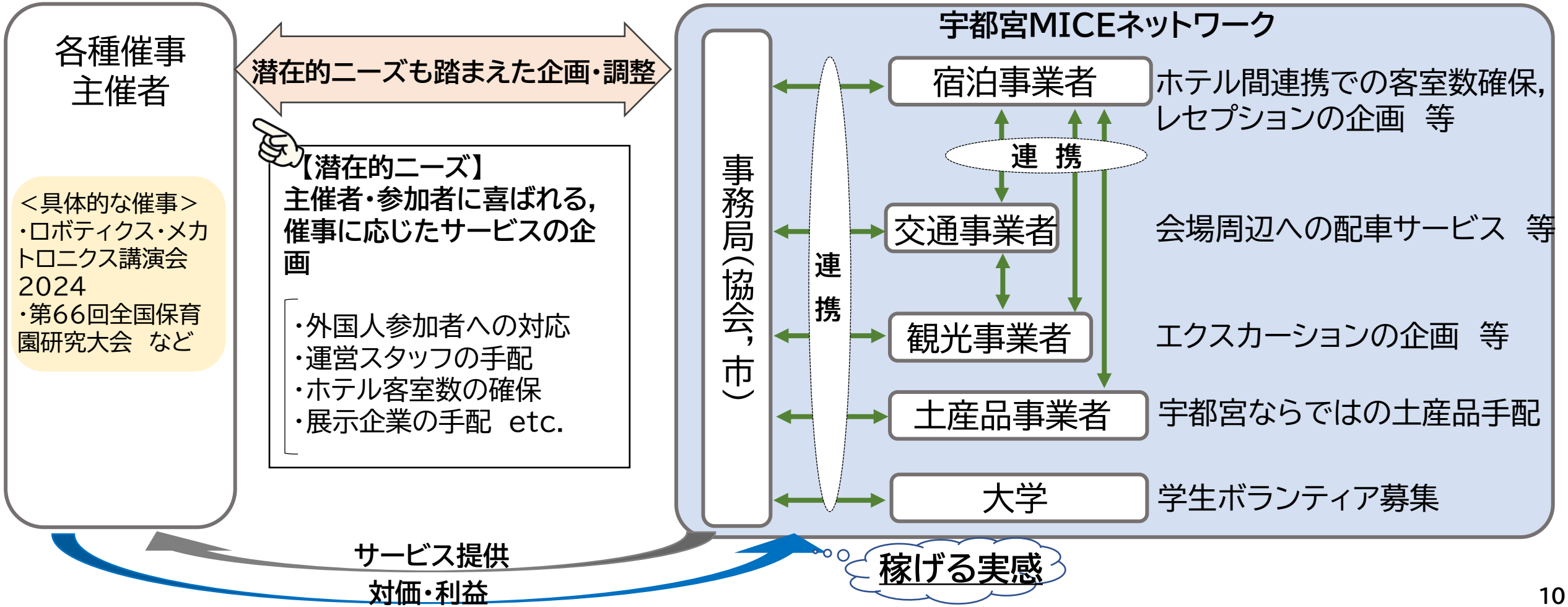
【第1部】「宇都宮市がMICE推進に取り組む意義」
　　➡MICE関係事業者等による講座

【第2部】「G7栃木県・日光男女共同参画・女性活躍担当大臣会合での取組と効果」
　　➡関係自治体・事業者等によるパネルディスカッション

3　受入に係る今後の取組の方向性について

②ネットワーク構成員の連携による主催者支援

主催者ニーズを踏まえ，関係構成員が相互に連携・調整しながら，今後，本市で開催予定の催事において，おもてなしサービスの企画・提供に取り組み，主催者等の満足度の向上はもとより，関係事業者における利益獲得や稼げる実感に繋げる。



3　受入に係る今後の取組の方向性について

主催者や参加者の満足度を向上させるためには，受入に関わる様々な事業者による多様なサービスの提供等を通じ，充分なおもてなしを提供することが重要！

主催者・参加者の「声」を踏まえ，今後，どのようなサービスを提供することが有効か，話し合ってみましょう。

★実際に主催者・参加者に提供したことがあるサービスやご自身が体験したサービスを共有しましょう。

【意見交換テーマ】

「MICE参加者や主催者に対して，
・今まで、どのようなサービスを提供したことがあるか（工夫した点）
・今後、どのようなサービスが、満足度の向上につながるか（有効な取組）」

（個人ワーク5分➡グループ討議20分➡グループ順に発表（@3分×4グループ）➡会長総評）

＜主催者の声（例）＞

参加者の要望に合わせた宇都宮の飲食店を紹介した。

配布した観光パンフレットが好評だった。

懇親会で餃子やカクテルブースを設け、盛り上がった。

＜参加者の声（例）＞

JR宇都宮駅で歓迎チラシを見かけ，おもてなしを感じた。

乗ったタクシーで、市内の観光地を親切に紹介してくれた。

滞在ホテルで栃木の郷土料理を味わうことができて良かった。

3　受入に係る今後の取組の方向性について

【参考】「コンベンションビューロー支援事業」の活用について

支援対象都市

2018年度：富山県、奈良県　2019年度：長崎市、姫路市　2020年度：岡山市、松山市
2021年度：鹿児島市、熊本市、高松市　2022年度：岐阜市、静岡市、新潟市

事業概要

・国際MICE誘致を目指している地方都市を対象に、組織力の強化を図るための支援を行う。
・支援対象都市のレベルと体制に応じた支援メニューを提供する。
・有識者を各都市に派遣しコンサルティングを行う。

プログラム

①MICEに特化したブランド開発
②地域のステークホルダーと連携した自都市の地域資源の分析（SWOT分析等）
③誘致する国際会議のターゲティングと具体的な誘致活動についてのコンサルティング
④MICEブランドに関連したMICEコンテンツのコンサルティング（ユニークベニュー、プレポストプログラム等）

主な取組

・MICEブランドの策定
富山県：　TOYAMA, JAPAN　Nature & Energy Lead to New Discovery
姫路市：　Himeji JAPAN. Monumental Meetings
長崎市：　Nagasaki JAPAN. A city of legacies

・MICE関連のステークホルダーとの連携を深め、都市を挙げてMICE誘致・受入を行う体制を構築